

山岳トイレ技術展示会・技術シンポジウム

～環境技術実証事業等事例報告会～

<開催趣旨>

本シンポジウムは、実証済み企業のPRの場とすることを主な目的とする。

また、今年度実施した、地方公共団体を対象にした「自然環境地域における非放流式し尿処理設備ニーズ調査」において、「環境技術実証事業（山岳トイレ技術分野）」に対する認知度は、ニーズを有すると回答した175件の回答のうち、13.1%にとどまっている。

そこで、本事業のPRのほか、実施意義や効果について更なる周知を目的に、地方公共団体、山小屋関係者、屎尿処理設備の開発メーカー等を対象に、過去5カ年で実証した技術の展示と実証結果の報告を兼ねた山岳トイレ技術展示・報告会を開催する。

なお、今回の報告に当たっては、実証機関からの報告に加え、地方自治体等をはじめとした山岳トイレに関わる機関・団体からの事例報告を行うことで、山岳トイレ改善へ向けた多方面からのアプローチを紹介し、本事業の位置づけへの理解を求めるとする。

以下のような観点からの報告を行い、トイレの改善を通じた山岳環境の保護と利用の促進に向けた活動を模索する。

1. 実証済み技術の保有メーカーのPRの場とすること
2. 環境技術実証事業（山岳トイレ技術分野）の更なる周知を図ること
3. 新分野の開拓（ソーラー・風力発電やこれまでに取り扱っていないタイプの技術・地域における実証ニーズの開拓）
4. 海外山岳トイレ事例の紹介
5. 山岳トイレ改善に向けた、全体的機運の高揚に向け、当分野で取り扱う非放流タイプの技術のほか、携帯トイレ、浄化槽についても一部取り上げる
6. 山小屋等のPRの場ともし、トイレ改善を通じて山小屋・自治体・環境省が一体となった山岳環境の改善及び保護と利用の促進を図る

<開催時期>

平成21年2月18-19日（若しくは19-20日）を**想定**

<開催場所>

東京都内

プログラム（案）

【1日目】

- 13:00 開会あいさつ
- 13:10 総論：環境技術実証事業の経緯
- 13:20 実証事例報告と技術解説（各発表 20 分 + 質疑 10 分）*2
- 14:20 展示見学
- 14:40 実証事例報告と技術解説（各発表 20 分 + 質疑 10 分）*2
- 15:40 地域の山岳トイレ事情 1（北海道編）
- 16:20 展示見学
- 16:40 地域の山岳トイレ事情 2（屋久島編）
- 17:20 閉会

【2日目】

- 9:30 海外山岳トイレ事情
- 10:10 トイレメンテナンス・し尿処理方式の事例紹介
- 10:50 展示見学
- 11:10 山岳トイレ研修・自然エネルギー導入事例
- 11:50 実証事業情報交流
- 12:20 閉会あいさつ
- 12:30 展示見学
- 13:00 閉会

開催時期：2009 年 2 月中旬

開催規模：200 人程度のシンポジウム及び、10 団体程度が出展することのできる展示（パネル展示等）が隣り合うことのできる会場

出展内容：パネル展示等による（実証メーカー、山小屋等）